

(別紙4(2))

目標達成計画書

事業所名 グループホーム おひさまの家

作成日: 平成 24年 08月 03日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなってしまうよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者の生活傷害に対応し、より自立した生活を支援する為 スタッフの資質向上	私達は家庭的且つ自立を目指すスタッフケアを行います。スタッフの介護技術、接遇のレベルを統一化とし、利用者個々においての細部までの情報を共有化を徹底とする。	住宅、病院からホームに入所する場合、家庭生活がホームでも活かせるように連続性、一貫性を重視したケアを行うことが出来る。転倒予防に関しては転倒はなぜ発生するのか？障害の要因、改善の可能性を検討し、要因に応じたケアを行い統一化する。 筋力向上訓練、ボディバランス訓練に向けて利用者のやる気を誘う(例:外へ散歩に行けるようにがんばろうね) 筋力回復が必要な事を理解し、楽しく訓練に取り組んでいただく。	6ヶ月
2		認知障害の抱えるコミュニケーション問題(障害)	私達は家庭的且つ自立を目指すスタッフケアを行います個々の個性を大切に安らぎと活力のある環境作りを目指します。	心身機能、聴力は補助具の使用状況や理解力、伝達能力がどのように影響しているか？ 又機能を改善させる事が出来るか？全員で経過観察の上、評価する。回復は困難であってもコミュニケーションの機会を増やし、利用者の参加機会を確保し生活の活性化に繋げていく。 (個別に対応している事柄を色々例にあげ実践していく)	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。